

甘楽富岡地域定住自立圏 共生ビジョン

2021 年（令和 3 年）11 月
富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町

目 次

策定にあたって	1
1 定住自立圏共生ビジョンの概要	2
(1) 定住自立圏の名称	2
(2) 定住自立圏を形成する市町村の名称	2
(3) 定住自立圏共生ビジョンの期間	2
2 圏域の現状	3
(1) 圏域の概況	3
(2) 地域を構成する市町村の概況	4
(3) 人口	6
①人口推移	6
②転出入状況	7
③将来人口推計	8
3 甘楽富岡地域定住自立圏の将来像	10
4 具体的取組	12
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	14
①医療	14
②福祉	15
③教育	24
④産業振興	31
⑤生活環境	33
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	36
①地域公共交通	36
②ICTインフラ整備	38
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	39
①人材育成	39
資料編	40

策定にあたって

富岡市、下仁田町、南牧村及び甘楽町の１市２町１村では、これまでも一部事務組合などを組織し、福祉・医療、し尿・ごみ処理、消防など、様々な分野で連携しながら圏域を形成してきました。また、通勤や通学、通院、買い物など、日常生活のあらゆる面において、密接な関係を築いています。

今後更なる連携を図り、定住に必要な生活機能を確保するため、令和３年６月２８日、富岡市と下仁田町、南牧村及び甘楽町が１対１で、甘楽富岡地域定住自立圏の形成に関する協定を締結しました。

この共生ビジョンでは、甘楽富岡地域の将来像や、協定に基づき推進する具体的取組を記載しています。

『定住自立圏構想』とは

（総務省ホームページより）

我が国は、今後、総人口の減少及び少子化・高齢化の進行が見込まれています。（中略）特に地方においては、大幅な人口減少と急速な少子化・高齢化が見込まれています。

このような状況を踏まえ、地方圏において安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出することが求められています。

市町村の主体的取組として、「中心市」の都市機能と「近隣市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、（中略）相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るため圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する政策です。

I 定住自立圏共生ビジョンの概要

(1) 定住自立圏の名称

甘楽富岡地域定住自立圏

(2) 定住自立圏を形成する市町村の名称

富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町

(3) 定住自立圏共生ビジョンの期間

2021（令和3）年度から2025（令和7）年度までの5年間とします。

ただし、毎年度成果を検証し、必要に応じて共生ビジョンの見直しを行います。

2 圏域の現状

(1) 圏域の概況

甘楽富岡地域は、群馬県の南西部、鎗川とその支流の流域に位置しています。西方の下仁田町と南牧村は長野県に接し、東方は関東平野に続く平坦地となっています。

上毛三山のひとつである妙義山や荒船山、稲含山など、多くの山々があり、水と緑に恵まれた自然豊かな地域です。鎗川流域に形成される河岸段丘は、通気性や保水性に優れており、その土壌を利用して栽培した「下仁田ねぎ」は、全国的にも有名です。

高崎から下仁田までの間を結ぶ上信電鉄や、国道 254 号のほか、主要地方道が地域を結んでいます。



この地域の歴史は古く、圏域内の遺跡からは、旧石器が出土しています。律令制下では、上野国甘楽郡に属しており、渡来人系の人々が多く住んでいたといわれています。

戦国期には、武田氏の支配下にあり、江戸期に入ると、七日市藩や小幡藩が置かれたほか、幕府直轄領、旗本領、寺社領に分かれました。江戸と上州・信州を結ぶ街道（下仁田道）が通り、物資の往来が盛んでした。今でも、地域内各所に関所や宿場町の跡が残っています。

その後、明治の市制・町村制の施行や、昭和・平成の合併により、現在の1市2町1村となりました。明治以降、富岡市がこの地域の行政・経済・教育・文化の中心としての役割を果たしてきており、下仁田町、南牧村、甘楽町と生活機能を共有しています。

(2) 地域を構成する市町村の概況



富岡市

- 人口 47,470 人
- 面積 122.85 km²

市の中央部には、鎗川とその支流である高田川が流れ、その流れに沿うように市街地や集落が形成されています。

主要産業は、養蚕をはじめとする農業でしたが、現在は、機械製造や食品加工などを中心とする工業となっています。市内の複数の工業団地に多くの工場が立地し、地域の雇用の受け皿となっています。

2014 年に「富岡製糸場」が世界文化遺産登録され、名勝妙義山とともに、国内外に誇るべき観光資源を有しています。

SDGs 推進と行政サービスの向上を目指し、市役所での雨水有効活用や愛タク（乗合タクシー事業）にも取り組んでいます。

【都市機能集積状況】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ○病院・診療所 61 箇所 | ○社会福祉施設 46 箇所 |
| ○企業数（2016 年）2,201 社 | ○商店数（2016 年）504 店 |
| ○教育機関（学校・公民館）33 箇所 | ○国・県関係機関 9 箇所 |



下仁田町

- 人口 6,583 人
- 面積 188.38 km²

下仁田町は、美しい山並みや鎗川の清らかな溪流など、豊かな自然に恵まれた農山村であり、古くから街道の交通の要衝・宿場町として栄えた歴史ある町です。

産業は農林業が盛んで、町の東側は良質な下仁田ねぎの産地となっており、「下仁田ねぎとこんにゃく」は、特産物として全国的に有名です。

妙義山や荒船山をはじめとした特有の地質資産を保有しており「下仁田ジオパーク」として日本ジオパークに認定され、「荒船風穴」も世界文化遺産に登録されています。「道の駅しもにた」のリニューアル等、地域資源を活かした産業振興、観光振興などに取り組んでいます。

【都市機能集積状況】

- | | |
|-------------------|------------------|
| ○病院・診療所 7 箇所 | ○社会福祉施設 5 箇所 |
| ○企業数（2016 年）422 社 | ○商店数（2016 年）93 店 |
| ○教育機関（学校・公民館）4 箇所 | ○国・県関係機関 2 箇所 |



南牧村

- 人口 1,612 人
- 面積 118.83 km²

村の周囲を 1,000m 内外の山々が取り囲み、そのほぼ中央を西から東に流れる南牧川とそれに注ぎ込む支流に沿って集落が点在しています。

主要産業であった農林業をはじめ、村内の各種産業は、過疎化の進行に伴い従事者の高齢化・後継者不足に直面しており厳しい状況が続いています。

近年では、移住するための空き家住宅の改修に加え、多目的に空き家住宅を活用するための改修工事を行うなど、移住促進を図るための魅力ある住宅環境の整備により、後継者不足の解消や地域の活性化に取り組んでいます。

【都市機能集積状況】

- | | |
|-------------------|------------------|
| ○病院・診療所 4 箇所 | ○社会福祉施設 2 箇所 |
| ○企業数（2016 年）107 社 | ○商店数（2016 年）19 店 |
| ○教育機関（学校・公民館）3 箇所 | |



甘楽町

- 人口 12,481 人
- 面積 58.61 km²

町は稻含山から北に向かって山間部、丘陵地、平坦地と変化に富み、それぞれの土地柄をしのばす歴史や文化があり、産業と集落が発展しています。

主要産業は、養蚕が盛んでしたが、現在は、野菜や果物の生産が多くなっています。なかでもキウイフルーツは、県内有数の産地となっています。製造業等においては、工業団地の造成、企業誘致により雇用の確保に取り組んでいます。

町民が安心して生活できるまちづくりを目指し、少子化対策や高齢者福祉、移住定住対策にも取り組んでいます。

【都市機能集積状況】

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○病院・診療所 20 箇所 | ○社会福祉施設 7 箇所 |
| ○企業数（2016 年）617 社 | ○商店数（2016 年）101 店 |
| ○教育機関（学校・公民館）7 箇所 | |

【出典】

●人口：「令和 2 年国勢調査」（総務省統計局）(<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200521&tstat=000001136464&cycle=0&year=20200&month=24101210&tclass1=000001136465&tclass2=000001154388>)

●面積：令和 3 年全国都道府県市区町村別面積調

●病院・診療所数：厚生労働省「令和元年医療施設調査」

●社会福祉施設数：厚生労働省「令和元年度社会福祉施設等調査」

※「社会福祉施設」とは、老人福祉施設・障害者支援施設・児童福祉施設等のこと

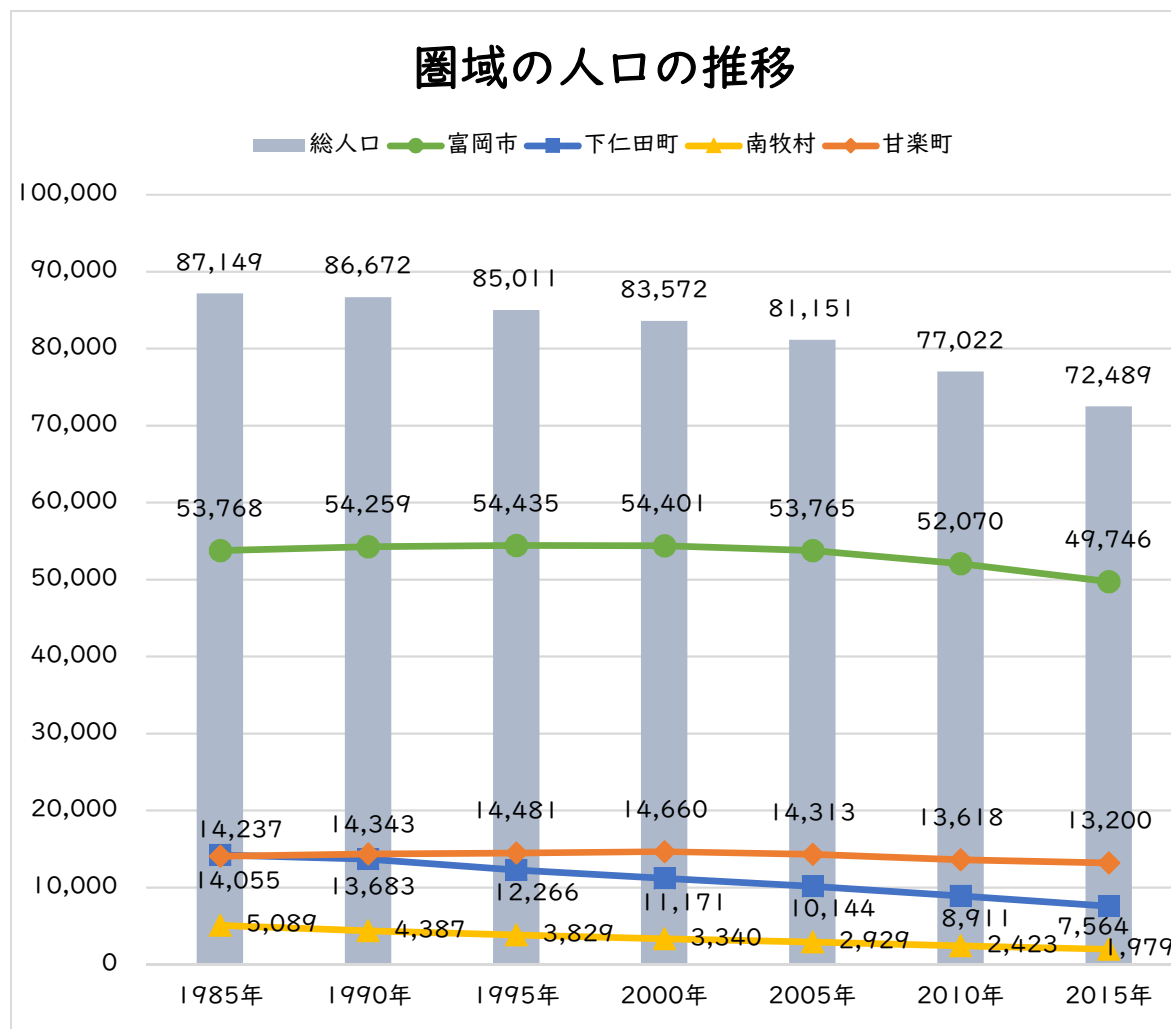
●企業数：総務省・経済産業省「平成 28 年経済センサス活動調査」

●商店数：経済産業省「平成 28 年経済センサス活動調査」

(3) 人口

①人口推移

国勢調査の結果では、本圏域の人口は、1985年（昭和60年）から2015年（平成27年）までの30年間に約14,000人減少しました。



単位：人

	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
総人口	87,149	86,672	85,011	83,572	81,151	77,022	72,489
福岡市	53,768	54,259	54,435	54,401	53,765	52,070	49,746
下仁田町	14,237	13,683	12,266	11,171	10,144	8,911	7,564
南牧村	5,089	4,387	3,829	3,340	2,929	2,423	1,979
甘楽町	14,055	14,343	14,481	14,660	14,313	13,618	13,200

【出典】「RESAS（地域経済分析システム）－人口構成－」

(<https://resas.go.jp/population-composition/#/transition/10/10210/2015/2/8.481126689736616/36.603237765/139.3823335/->)

(<https://resas.go.jp/population-composition/#/transition/10/10382/2015/2/8.481126689736616/36.603237765/139.3823335/->)

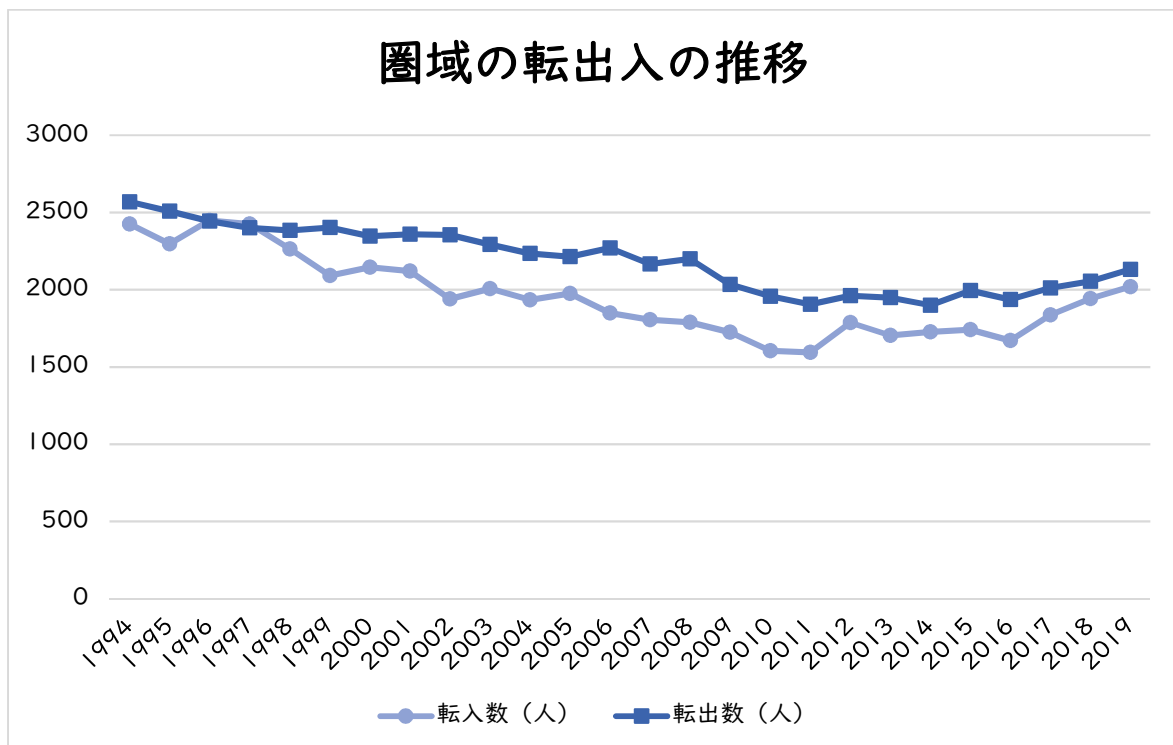
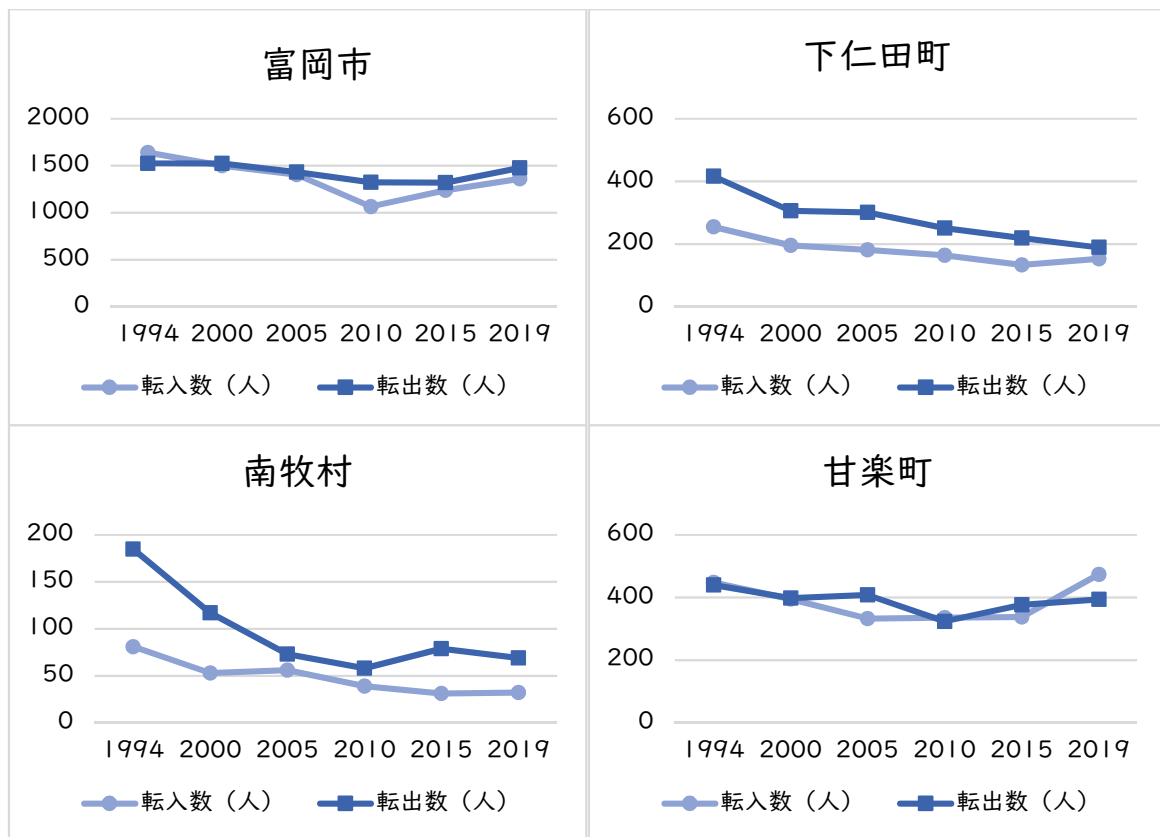
(<https://resas.go.jp/population-composition/#/transition/10/10383/2015/2/8.481126689736616/36.603237765/139.3823335/->)

(<https://resas.go.jp/population-composition/#/transition/10/10384/2015/2/8.481126689736616/36.603237765/139.3823335/->)

からデータをダウンロード・加工して作成

②転出入状況

転出数が転入数を上回っており、この傾向はこれからも続くと予測されます。

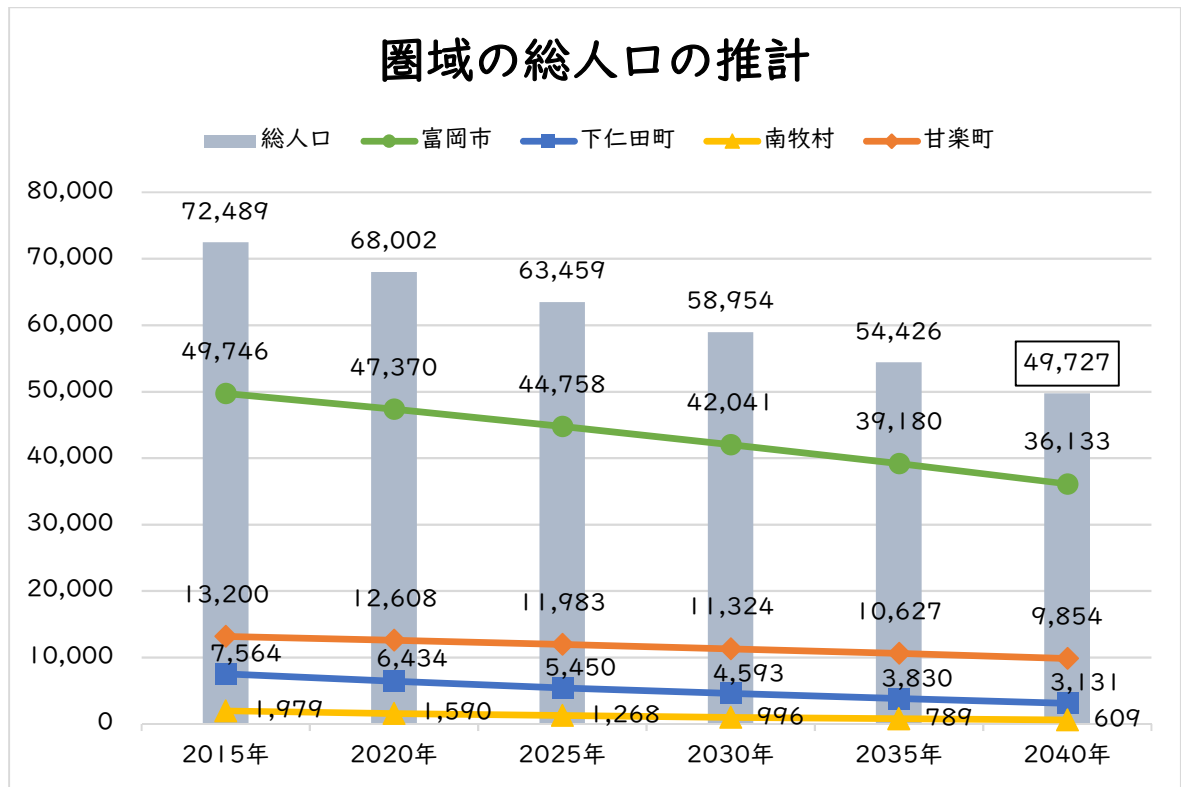


【出典】「RESAS（地域経済分析システム）-サマリー機能-人口増減・地域間流動-」（<https://summary.resas.go.jp/summary.html>）からデータをダウンロード・加工して作成

③将来人口推計

【総人口】

国立社会保障・人口問題研究所の推計（平成 30 年 3 月公表）では、本圏域の総人口は、2040 年（令和 22 年）には、49,727 人になると予測されています。



単位：人

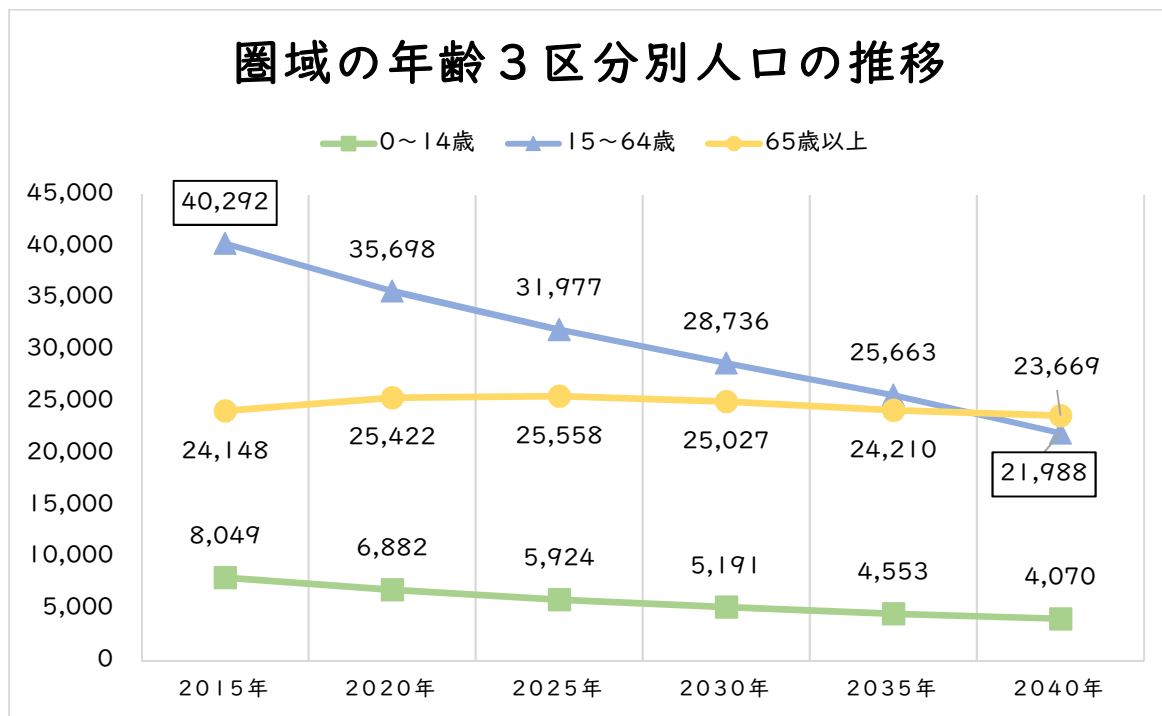
	2015 年	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年
総人口	72,489	68,002	63,459	58,954	54,426	49,727
富岡市	49,746	47,370	44,758	42,041	39,180	36,133
下仁田町	7,564	6,434	5,450	4,593	3,830	3,131
南牧村	1,979	1,590	1,268	996	789	609
甘楽町	13,200	12,608	11,983	11,324	10,627	9,854

【出典】「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）（<http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/3kekka/Municipalities.asp>）からデータをダウンロード・加工して作成

※上記グラフ及び表の 2015 年の値は、推計値ではなく、2015 年（平成 27 年）国勢調査による人口です。

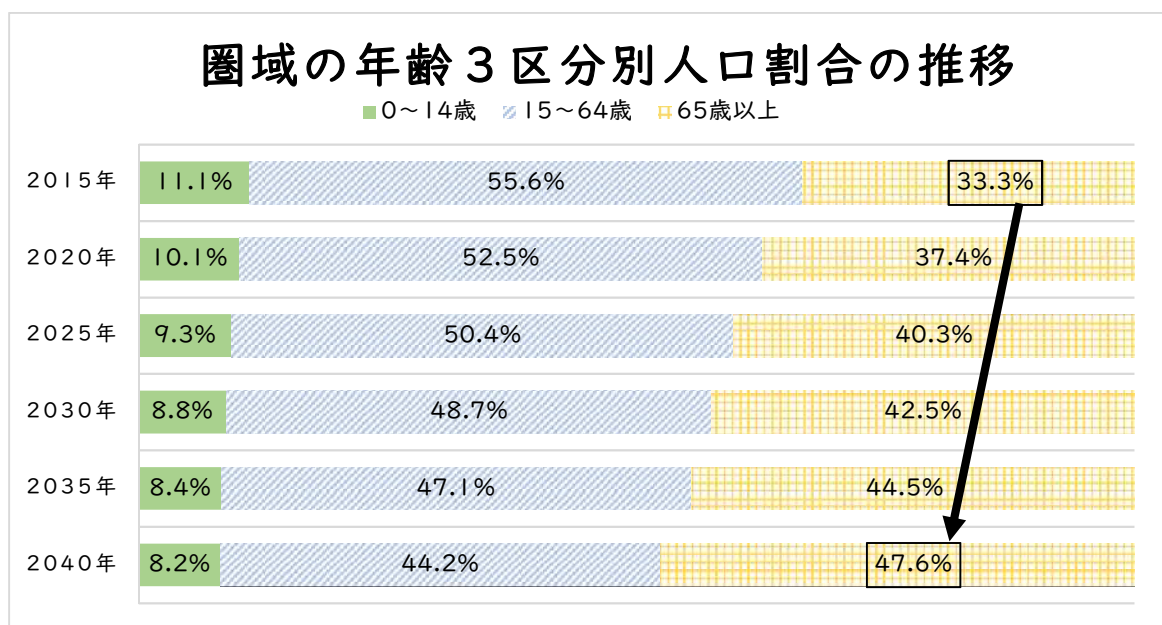
【年齢3区分人口】

65 歳以上の老年人口はほぼ横ばいで推移していますが、15～64 歳の生産年齢人口は年々減少しており、2040 年（令和 22 年）には、2015 年（平成 27 年）の約半分になると予測されています。



【出典】「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）（<http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/3kekka/Municipalities.asp>）からデータをダウンロード・加工して作成

また、65 歳以上の老年人口の割合は、2015 年（平成 27 年）時点では 33.3% でしたが、2040 年（令和 22 年）には 47.6% と、地域全体人口の約半数が 65 歳以上となると予測されています。



【出典】「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）（<http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/3kekka/Municipalities.asp>）からデータをダウンロード・加工して作成

3 甘楽富岡地域定住自立圏の将来像

富岡市、下仁田町、南牧村及び甘楽町は、これまでも、医療、福祉や観光など、幅広い分野で相互に協力してきました。

住民にとって暮らしやすいまちづくりを進めてきましたが、人口減少や高齢化は、急速に進んでおり、このままでは、地域コミュニティの維持が難しくなることが予想されます。

これからの人口減少や高齢化に対応するためには、富岡市が中心市となり、下仁田町、南牧村及び甘楽町それぞれと役割分担しながら、さらに連携を深めていくとともに、住民の暮らしに必要な機能を確保し、住民が満足できる、より質の高いサービスを提供する必要があります。

また、行政、地域で様々な活動に取り組んでいる団体や民間企業が、共に協力しながら各種事業を実施することで、地域全体で地域の力を向上させる必要があります。

このように、自治体間の連携をはじめ、圏域の住民や団体等が協力しながら、子育て支援、地域福祉、公共交通、雇用環境、共生社会の実現など、暮らしに必要な機能が充実した、誰もが安心して「住み続けたい」と思える地域をつくります。

あわせて、地域の文化や伝統を守り、後世につないでいくとともに、観光資源や自然環境の豊かさなど、この地域の魅力を積極的に発信して、都市圏から甘楽富岡地域への人の流れを創出し、人を惹きつける「暮らしてみたい」と思える地域を目指します。

地域の担い手となっていく子どもたちを、地域全体で育てる環境を整え、この地域で育った人材が、自分のやりたいことができる、活躍できるような、未来を担う人材が育ち、ずっと輝き続ける地域をつくります。

具体的には、以下3つの政策分野について各種事業を実施します。

- 1 生活機能の強化に係る政策分野
- 2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
- 3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

【中長期的な将来の人口】

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2040 年（令和 22 年）における圏域全体の人口は 49,727 人、高齢化率は 47.6%になると予測されています。

甘楽富岡圏域の 1 市 2 町 1 村が連携して事業に取り組むことにより、2040 年（令和 22 年）における圏域全体の人口及び高齢化率を次のとおりとすることを目指します。

人口 54,000 人 ・ 高齢化率 44%

4 具体的取組

甘楽富岡地域定住自立圏の形成に関する協定に基づき、以下の事業に取り組んでいきます。

政策分野	政策項目	協定内容	具体的取組	掲載頁
生活機能の強化	医療	医療体制の充実	健康ダイヤル 24 広域実施事業	14
	福祉	地域福祉の充実	障害支援区分等認定審査会事業	15
			障害者相談支援・地域活動支援センター事業	16
			富岡地域自立支援協議会事業	17
			手話奉仕員養成研修事業	18
		高齢者福祉及び介護保険の充実	介護認定審査会	19
			在宅医療・介護連携推進事業	20
			認知症初期集中支援推進事業	21
		子育て支援の充実	ファミリーサポートセンター共同運営事業	22
			病児・病後児保育事業	23
	教育	教育環境の充実	小中学生交流事業	24
			校務支援システム共同運用事業	25
			適応指導教室・発達支援教室共同運用事業	26
			教育研究所共同運用事業	27
		体育施設の利用促進	体育施設の利用促進事業	28
		スポーツ振興の推進	スポーツ振興の推進	29
		生涯学習の推進	文化講座等共同事業	30
	産業振興	広域観光連携	広域観光連携事業 (広域観光連携協議会組織体制の強化)	31
			広域観光連携事業 (専門人材招聘事業)	32

政策分野	政策項目	協定内容	具体的取組	掲載頁
生活機能の強化	生活環境	粗大ごみ受入体制の充実	粗大ごみ処理受託事業	33
		上水道事業における緊急時相互応援	緊急時相互応援事業	34
		下水道事業における接続統合事業及び維持管理	下水道広域化・共同化計画整備事業	35
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	地域公共交通の維持及び整備	上信電鉄維持管理事業	36
			乗合タクシー広域運行事業	37
	I C T インフラ整備	情報政策の推進	情報政策連携事業	38
圏域マネジメント能力の強化	人材育成	圏域市町村職員等の研修の共同実施	圏域市町村職員等の研修の共同実施	39

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

①医療

ア 医療体制の充実

【取組の内容】

圏域の住民が安心して暮らすことができるよう、医療体制及び医療環境の充実を図るため、医師会等の関係機関と連携して事業に取り組む。

事業名	健康ダイヤル 24 広域実施事業									
事業概要	健康、医療、介護、看護、育児、メンタルヘルス等の健康に関する電話相談に 24 時間体制で応じる。									
効果	住民の生活改善、不安解消、健康の保持・増進、疾病予防、介護予防、子育ての不安解消が期待できる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	3,300	6,500	5,000	5,000	5,000					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	実施に向けた検討			➡						
	事業実施			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	・ 住民への周知 ・ 事業に係る費用を負担								
	町村	・ 住民への周知 ・ 事業に係る費用を負担								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
利用件数	3,275 件 (富岡市・甘楽町)	4,000 件

②福祉

ア 地域福祉の充実

【取組の内容】

圏域内の住民が地域でいきいきと安心して暮らすことができるよう、地域福祉の充実を図るため、中心市及び近隣町村が連携して事業に取り組む。

事業名	障害支援区分等認定審査会事業									
事業概要	障害者総合支援法に基づく障害支援区分等認定業務について、共同で障害支援区分等認定審査会を設置し、運営する。									
効果	障害支援区分審査を効率的かつ公平に実施することができる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	2,130	2,130	2,130	2,130	2,130					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	障害支援区分認定審査会設置運営			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	・ 審査会の運営及び関係事務を行う。 ・ 事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
	町村	・ 審査会の運営協力及び関係事務を行う。 ・ 事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
審査件数	100 件	230 件

事業名	障害者相談支援・地域活動支援センター事業									
事業概要	障害者総合支援法に基づく、障害者相談支援事業、基幹相談支援センター等機能強化事業、地域活動支援センター事業について、共同で実施する。									
効果	・ 人員確保による相談体制の充実等により、適切な相談支援体制を確保することができ、高度な相談に対してもより迅速に対応することができる。 ・ 地域活動支援センターへの通所により、創作活動の場が広がり、地域住民との交流の場が増え、自立に向けた一歩につながる事が期待できる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	32,000	31,000	31,000	31,000	31,000					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	障害者相談支援事業実施			➡	➡	➡	➡	➡		
	基幹相談支援センター等機能強化事業実施			➡	➡	➡	➡	➡		
	地域活動支援センター事業実施			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	・ 事業委託先との調整及び関係事務を行う。 ・ 事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
	町村	・ 関係事務を行う。 ・ 事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
相談支援件数	4,064 件	4,140 件
地域活動支援センター登録者数	109 人	129 人

事業名	富岡地域自立支援協議会事業									
事業概要	障害者総合支援法に基づく富岡地域自立支援協議会を共同で設置する。									
効果	・ 障害者の自立した社会生活を支援する体制の確保が図られる。 ・ 障害のある方が、安心して暮らすことができるまちづくりや体制づくりが期待できる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	0	0	0	0	0					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	自立支援協議会設置運営			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	協議会を共同で設置・運営する。								
	町村	協議会を共同で設置・運営する。								
備考										

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
協議会の開催回数	6回	6回

事業名	手話奉仕員養成研修事業									
事業概要	日常会話程度の手話表現技術を習得した手話奉仕員の養成研修（入門編・基礎編）を、共同で実施する。									
効果	・手話奉仕員を確保することで、意思疎通を図ることに支障がある障害者等の自立した生活を支援することができる。 ・手話への理解が深まり、手話の普及が期待できる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	811	811	811	811	811					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	実施に向けた検討			➡						
	研修実施			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	・関係者との調整及び関係事務を行う。 ・事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
	町村	・関係事務を行う。 ・事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
受講者数	37人	60人

イ 高齢者福祉及び介護保険の充実

【取組の内容】

圏域内の住民が健やかに安心して暮らし続けられるよう、高齢者福祉及び介護保険の充実を図るため、中心市及び近隣町村が連携して事業に取り組む。

事業名	介護認定審査会									
事業概要	介護保険法に規定する要介護認定及び要支援認定に関する審査の公平性及び効率性の確保を図るため、介護認定審査会の共同設置及び運営を行い、圏域住民を対象として介護認定審査を実施する。									
効果	・ 審査・判定を効率的かつ公正に実施することができる。 ・ 適正な介護サービスにつながり、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	20,422	19,600	19,600	19,600	19,600					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	介護認定審査会開催			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	・ 介護認定審査会を設置・運営し、介護認定審査会に関する事務を行う。 ・ 事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
	町村	・ 介護認定審査会事務と介護認定審査会への運営協力を行う。 ・ 事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
審査件数	3,974 件	3,900 件

事業名	在宅医療・介護連携推進事業									
事業概要	・在宅医療・介護連携に関して、必要な情報の収集、整理及び活用、課題の把握、施策の企画及び立案、医療・介護関係者に対する周知を行う。 ・地域の医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他必要な援助を行う。 ・在宅医療・介護連携に関する地域住民の理解を深めるための普及啓発を行う。 ・医療・介護関係者間の情報の共有を支援し、医療・介護関係者に対して、在宅医療・介護連携に必要な知識の習得及び当該知識の向上のために必要な研修を行うとともに、その他の地域の実情に応じて医療・介護関係者を支援する。									
効果	在宅医療・介護の関係者間のネットワーク化を図ることにより、できる限り住み慣れた環境での在宅生活が継続できる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	9,950	9,950	9,950	9,950	9,950					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	在宅医療・介護連携に係る情報収集、周知等			➡	➡	➡	➡	➡		
	医療・介護関係者からの相談対応等			➡	➡	➡	➡	➡		
	在宅医療・介護に関する普及啓発			➡	➡	➡	➡	➡		
	医療・介護関係者の知識向上のための研修実施等			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	・関係者との調整を行う。 ・事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
	町村	・事業の円滑な実施に向け事業の周知や運営に協力する。 ・事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
実施事業数	全8事業実施	全4事業実施

事業名	認知症初期集中支援推進事業									
事業概要	・ 認知症初期集中支援チーム（専門医含む）が、認知症の早期診断及び早期対応に結びつく支援を実施する。 ・ 事業を円滑に実施するために普及啓発・検討を行う場を設ける。									
効果	専門医等が早期に支援に介入することにより、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	5,584	5,584	5,584	5,584	5,584					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	事業実施			➡	➡	➡	➡	➡		
	普及啓発			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	・ 関係者との調整を行う。 ・ 事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
	町村	・ 事業の円滑な実施に向け事業の周知や運営に協力する。 ・ 事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
支援チーム数	1 チーム	1 チーム

ウ 子育て支援の充実

【取組の内容】

圏域内の住民が安心して子育てできる環境を整備するとともに、子育て支援の充実を図るため、中心市及び近隣町村が連携して事業に取り組む。

事業名	ファミリーサポートセンター共同運営事業									
事業概要	それぞれの地域で、育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、保育園やこども園・幼稚園・塾などへの送迎、放課後の預かり、休業日などの預かり、冠婚葬祭や保護者の病気、自身のリフレッシュ、その他急用の場合の預かりなどを実施。									
効果	・ファミリーサポートセンター事業がない地域での事業展開と地域間交流を図ることができる。 ・育児者の心身の負担を軽減し、安心して子育てができる環境の拡充ができる。 ・利用できる地域が広がることで、より柔軟に事業を利用することができる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	2,832	2,832	2,832	2,832	2,832					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	実施に向けた検討			➡						
	事業実施			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	・近隣町村の住民も広域に利用できるように、講習会や交流会を開催し、会員同士の交流を図る。 ・広報等で住民へ周知し、会員登録を促す。								
	町村	・広報等で住民へ周知し、会員登録を促す。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
活動件数	34	70

事業名	病児・病後児保育事業									
事業概要	圏域内の在住・在勤者が利用できる病児保育事業の実施に向けた検討を行う。									
効果	病気の児童を安全に保育し、あわせて看護する場を提供することで、保護者が安心して育児と仕事の両立を図ることができる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	—	—	—	—	—					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	実施に向けた検討			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	・ 関係施設との調整 ・ 住民への周知 ・ 事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
	町村	・ 住民への周知 ・ 事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
備考										

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
病児保育利用者数	—	—

③教育

ア 教育環境の充実

【取組の内容】

圏域内の児童生徒、教職員等が相互に協力し、学校教育の推進及び教育環境の充実を図るため、中心市及び近隣町村が連携して事業に取り組む。

事業名	小中学生交流事業									
事業概要	・小中学生の学習交流 ・中学生の部活動における交流									
効果	・児童生徒の地域を愛する心を育てるとともに、学習意欲の向上を図ることができる。 ・学習教材を有効に活用することで、授業の効率化を図ることが期待できる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	0	0	50	50	50					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	実施に向けた検討・実行計画作成			➡	➡					
	事業実施			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	・実施計画を作成し、事業に必要な準備を行う。 ・町村の支援を行う。								
	町村	・実施計画を作成し、事業に必要な準備を行う。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
交流回数	0 回	8 回

事業名	校務支援システム共同運用事業									
事業概要	連携市町村間で共通の校務支援システムを導入し、共同で利用できるネットワークを整備する。									
効果	・共同で導入することにより、各市町村における予算が抑えられる。 ・データ資料の送付や情報共有等、教職員同士の連携がしやすくなる。 ・児童生徒の転校、教職員の異動の手続が簡略化できる等、事務負担を軽減できるほか、業務の効率化を図ることができる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	23,346	23,346	21,000	21,000	21,000					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	導入に向けた検討			➡	➡	➡				
	システム運用					➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	・校務支援システム共同運用事業の維持・整備に必要な事業を行う。 ・町村が導入する際の支援を行う。								
	町村	・富岡市と連携し、校務支援システム共同運用事業の維持・整備に必要な事業を行う。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
校務支援システム共同運用数	0	1

事業名	適応指導教室・発達支援教室共同運用事業									
事業概要	富岡市が設置している適応指導教室や発達支援教室について、下仁田町、南牧村、甘楽町の児童生徒も利用できるよう、共同で運用する。									
効果	・ 富岡市の教室を共同で利用することで、予算や人員等を抑えることができる。 ・ より多くの児童生徒の指導やよりよい支援方法等の情報を扱うことにより、教室の資質向上を図ることができる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	3,680	4,814	4,814	4,814	4,814					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	実施に向けた検討			➡	➡					
	適応指導教室及び発達支援教室の共同運用			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	適応指導教室及び発達支援教室の利用に向けて、必要な事業及び支援を行う。								
	町村	富岡市と連携し、適応指導教室及び発達支援教室の利用に向けて、必要な事業及び支援を行う。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
町村からの教室利用人数	0 人	6 人

事業名	教育研究所共同運用事業									
事業概要	教育研究所を共同で設置し、教職員の研修を共同で実施する。									
効果	・教職員の業務の効率化を図ることができる。 ・共同で研修を実施することで、教育方針や指導方法等の共有を図ることができ、教職員の資質の向上を図ることができる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	200	200	200	200	200					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	実施に向けた検討			➡	➡	➡	➡			
	共同で研修実施					➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	圏域内の教職員の研修に必要な教育研究所の有効利用に向けて、必要な事業及び支援を行う。								
	町村	富岡市と連携し、圏域内の教職員の研修に必要な教育研究所の有効利用に向けて、必要な事業及び支援を行う。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
富岡市教育研究所の運用 状況市町村数	1	3

イ 体育施設の利用促進

【取組の内容】

体育施設の利用を促進するため、中心市及び近隣町村が連携して事業に取り組む。

事業名	体育施設の利用促進事業									
事業概要	・ 下仁田町民、南牧村民、甘楽町民は、富岡市内の体育施設を利用できる。 ・ 富岡市民は、下仁田町内と南牧村内の体育施設を利用できる。									
効果	市町村の境界を越えて距離が近い施設を選択できたり、活動団体や大会等の規模に合った施設を選択できたりすることで、住民の利便性向上及び利用拡大につながる事が期待できる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	50	100	100	100	100					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	実施に向けた検討			➡						
	事業実施			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	下仁田町民、南牧村民、甘楽町民が、富岡市内の体育施設を富岡市民と同一条件で利用できるよう、必要な調整及び準備を行う。								
	町村	富岡市民が、下仁田町内と南牧村内の体育施設を各町村の住民と同一条件で利用できるよう、必要な調整及び準備を行う。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
体育施設利用者数	480,911 人	490,000 人

ウ スポーツ振興の推進

【取組の内容】

圏域内のスポーツ振興を図るため、中心市及び近隣町村が連携してスポーツイベント、スポーツ教室等のスポーツ活動を促進するための事業に取り組む。

事業名	スポーツ振興の推進									
事業概要	広報等を通じて、地域内住民に、スポーツイベントやスポーツ教室等の開催案内をし、相互に参加可能とする。									
効果	・市町村の境界を越えて興味のあるスポーツイベントやスポーツ教室に参加することができるようになり、住民がスポーツに親しむ機会を増やすことができる。 ・スポーツを通して健康増進を図ることができるだけでなく、住民同士の交流が生まれ、新たなコミュニティや生きがいができる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)			
	1,670	1,670	1,670		1,670		1,670			
スケジュール	具体的な取組内容				R3	R4	R5	R6	R7	
	実施に向けた検討				➡					
	事業実施				➡	➡	➡	➡	➡	
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	スポーツ振興に向けた取組を実施する。 ・市のスポーツイベントやスポーツ教室等に関する情報を町村に提供する。 ・町村から提供された情報を、住民に周知する。								
	町村	スポーツ振興に向けた取組を実施する。 ・町村のスポーツイベントやスポーツ教室等に関する情報を市に提供する。 ・市から提供された情報を、住民に周知する。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
相互参加可能なスポーツイベント等開催数	0	15

エ 生涯学習の推進

【取組の内容】

圏域内の住民の多様化及び高度化する生涯学習へのニーズ並びに社会の変化に対応した学習機会を提供するため、中心市及び近隣町村が連携して生涯学習施設等を活用した事業の情報共有及び相互参加に取り組む。

事業名	文化講座等共同事業									
事業概要	老若男女問わず圏域内の全ての住民がより多様な学習機会を得られるよう、講座、行事、イベントなどの情報共有や情報を発信する。									
効果	・ 圏域内の住民に広く周知することで、講座等の選択肢が増え、広域的な学びの広がりにつながる。 ・ 相互参加による受講生の増加により、講座等の活性化が図られ生涯学習の推進が期待できる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)		R7(2025)				
	40	40	40	40		40				
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	実施に向けた検討			➡						
	事業実施			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	・ 関係者との調整、市の公民館の講座等について町村に情報提供し、広報等で情報発信を行う。 ・ 事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
	町村	・ 町村の公民館の講座等について市に提供し、広報等で情報発信を行う。 ・ 事業に要する経費を負担割合に応じて負担する。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
自市町村の受講者数	0人	200人

④産業振興

ア 広域観光連携

【取組の内容】

多様化する旅行のニーズ及び行動範囲の広域化に対応するため、中心市及び近隣町村が広域連携の利点を生かした事業に取り組む。

事業名	広域観光連携事業（広域観光連携協議会組織体制の強化）							
事業概要	広域観光連携協議会の現組織体制の見直しを行い、広域で観光客の受け入れ環境を整備する。							
効果	・ 協議会に係る負担金、会議等に要する労務時間や経費の削減を図ることができる。 ・ 広域観光連携を意識したPRやイベント企画を行うことで、「1つの観光地を訪れる観光」から「複数の観光エリアを訪れる観光」への転換が期待できる。							
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)			
	2,047	2,047	2,047	—	—			
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7
	見直しに向けた検討			➡	➡	➡		
	協議会開催			➡	➡	➡	➡	➡
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町 ※協議会によって異なる							
役割分担 の考え方	富岡市	広域観光連携協議会における類似協議会見直しの場を設ける。						
	町村	上記見直しの場合へ参加する。						
備考								

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
広域連携事業立案による連携数 （目標値達成事業のみ） ※事業内容によって個別指標を設定	0	2

事業名	広域観光連携事業（専門人材招聘事業）									
事業概要	地域活性化起業人制度や、観光庁の専門家派遣事業を活用し専門人材の招聘を行い、基礎となる広域観光戦略を立案する。									
効果	・ 周遊型観光の足掛かりとなり、地域における交流人口の増加が見込まれる。 ・ 住民が地域の魅力を再発見するきっかけとなることが期待できる。									
事業費 （千円）	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	0	0	0	0	0					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	地域活性化起業人受入準備			➡	➡	➡	➡	➡		
	観光庁の専門家派遣事業実施			➡	➡	➡	➡	➡		
	広域観光戦略策定						➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	専門人材等招聘に向けた調整を図り、広域観光戦略立案に向けた環境整備を行う。								
	町村	広域観光戦略立案に向けた環境整備を行う。								
備考										

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
広域観光戦略の策定	なし	実施中
専門人材招聘人数 (延べ人数)	0人	8人

⑤生活環境

ア 粗大ごみ受入体制の充実

【取組の内容】

圏域内の住民の生活環境向上のため、可燃性粗大ごみの処理に関して富岡市及び甘楽町が連携して事業に取り組む。

事業名	粗大ごみ処理受託事業									
事業概要	富岡市清掃センター及び資源化センターにおいて、甘楽町の住民から排出される可燃性粗大ごみ（家具類、机、椅子、布団類、畳、鏡台、ソファ、カーペット）を処理する。									
効果	甘楽町民の利便性向上が期待される。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	実施に向けた検討			➡						
	事業実施			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	施設の維持管理を行う。								
	甘楽町	必要な経費を負担する。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
粗大ごみ量	0 トン	25 トン

イ 上水道事業における緊急時相互応援

【取組の内容】

災害等の緊急事案が発生した場合、応援給水を行うため、中心市及び近隣町村が連携して事業に取り組む。

事業名	緊急時相互応援事業									
事業概要	災害等で水道水の供給が行えなくなるような緊急事案が発生した際に、市町村間で連携し応援給水に必要な事業及び支援を行う。									
効果	・災害等で断水した場合に、迅速に住民に水道水を供給することができる。 ・上水道の復旧に必要な職員を派遣し合うことで、早期復旧が期待できる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	—	—	—	—	—					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	実施に向けた検討			➡						
	職員派遣に係る体制整備			➡	➡	➡	➡	➡		
	必要な設備導入			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	緊急事案が発生した際に、迅速かつ適切な対応が実施できるよう応援体制を確立する。								
	町村	緊急事案が発生した際に、迅速かつ適切な対応が実施できるよう応援体制を確立する。								
備考										

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
—	—	—

ウ 下水道事業における接続統合事業及び維持管理

【取組の内容】

農業集落排水を流域公共下水道本管に共同で接続統合するとともに、維持管理等を広域的に実施する。

事業名	下水道広域化・共同化計画整備事業							
事業概要	群馬県汚水処理計画に位置づけられている広域化・共同化計画で、富岡市の岡本地区農業集落排水及び甘楽町の善慶寺国峰地区農業集落排水を流域公共下水道本管に共同管を布設して接続統合する。							
効果	流域公共下水道に接続統合することで、農業集落排水処理施設の廃止に伴う維持管理費の削減が図られる。							
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)			
	—	—	50,000	100,000	100,000			
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7
	実施に向けた検討・調整			➡	➡	➡	➡	➡
	実施調査及び接続工事					➡	➡	➡
連携市町村	富岡市、甘楽町							
役割分担 の考え方	富岡市	群馬県汚水処理計画（広域化・共同化計画）と連携を図り、整備及び維持管理等を行う。						
	甘楽町	富岡市と連携を図り、整備及び維持管理を行う。						
備考								

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
接続工事進捗率	0%	75%

※接続事業期間を令和5年度から令和8年度までの4年間として現在計画しております。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

①地域公共交通

ア 地域公共交通の維持及び整備

【取組の内容】

交通ネットワークを強化し、圏域住民の交通手段を維持するため、鉄道、乗合タクシー等の公共交通の整備に向けた取組を行う。

事業名	上信電鉄維持管理事業									
事業概要	安全安心な地域公共交通を確保するため、上信電鉄の鉄道施設等の維持管理及び整備に対し必要な事業及び支援を行う。									
効果	安全安心な鉄道の維持及び圏域住民の貴重な公共交通の存続が期待される。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	46,551	48,157	48,000	48,000	48,000					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	事業実施			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	県、沿線市町村連絡協議会及び上信電鉄(株)と連携し、上信電鉄の鉄道施設等の維持管理及び整備に対し必要な費用を負担する。								
	町村	県、沿線市町村連絡協議会及び上信電鉄(株)と連携し、上信電鉄の鉄道施設等の維持管理及び整備に対し必要な費用を負担する。								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
圏域内駅の乗降人数	1,140 千人	1,351 千人

事業名	乗合タクシー広域運行事業									
事業概要	圏域における移動手段の確保と充実を図るため、デマンドタクシー等の広域的な運行を行う。									
効果	広域的な公共交通手段が確保されることにより、圏域住民の利便性の向上が期待される。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	—	—	—	—	—					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	実施に向けた協議及び検討			➡	➡	➡	➡	➡		
	事業実施			関係者との協議・調整後実施						
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	広域的な公共交通網の整備を図るため、町村との連携及び協議並びに調整を行う。								
	町村	富岡市と連携し、協議及び検討を行う。								
備考										

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
—	—	—

② ICTインフラ整備

ア 情報政策の推進

【取組の内容】

デジタル化及びオンライン化の推進、費用低減、サービス品質向上等を図るため、中心市及び近隣町村が連携して事業に取り組む。

事業名	情報政策連携事業									
事業概要	・システム統一化、共同調達の検討 ・マイナンバーに関する対応協力 ・行政手続オンライン化に関する情報共有									
効果	・運用及びシステムの統一化並びに共同調達により、システムに関する費用を抑え、構築期間を短縮することができる。 ・職員の知識・情報共有によって、各分野へのデジタル化・オンライン化へのスピーディな対応が可能となり、行政サービス品質の向上が期待できる。 ・データの一元管理により、圏域全体におけるセキュリティの強化が図られる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	—	—	—	—	—					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	システム統一化、共同調達に向けた検討			➡	➡	➡	➡	➡		
	マイナンバーに関する対応協力			➡	➡	➡	➡	➡		
	行政手続オンライン化に関する情報共有			➡	➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	町村及び関係機関と連携し、情報システム・ネットワークの構築及び運用に必要な情報共有と支援を行う。								
	町村	富岡市及び関係機関と連携し、情報システム・ネットワークの構築及び運用に必要な情報共有と支援を行う。								
備考										

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R7）
—	—	—

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

①人材育成

ア 圏域市町村職員等の研修の共同実施

【取組の内容】

職員の人的ネットワークの構築及び政策課題への対応力を高めるため、研修を共同実施することにより、能力向上及び職員間の交流促進を図る。

事業名	圏域市町村職員等の研修の共同実施									
事業概要	圏域市町村職員等の研修を共同実施することにより、人的ネットワークの構築、政策課題への対応力向上を図る。									
効果	共同実施することで、効率的に職員研修を開催できるとともに、職員の能力向上、関係職員間の交流促進が図られる。									
事業費 (千円)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
	—	300	300	300	300					
スケジュール	具体的な取組内容			R3	R4	R5	R6	R7		
	実施に向けた検討			➡						
	事業実施				➡	➡	➡	➡		
連携市町村	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町									
役割分担 の考え方	富岡市	・ 共同実施する職員研修の情報収集、企画立案 ・ 研修開催のための事前協議、連絡調整、参加者の集約								
	町村	・ 職員研修の共同実施のための事前協議、連絡調整、参加者の集約								
備考										

※事業費は現在の見込額です。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R2)	目標値 (R7)
共同研修への参加者数 (延べ人数)	0 人	120 人

資料編

甘楽富岡地域定住自立圏共生ビジョン策定過程

令和3年8月20日 第1回甘楽富岡地域定住自立圏共生ビジョン懇談会 ※書面開催
【案件】甘楽富岡地域定住自立圏共生ビジョン懇談会会長及び副会長について

9月 3日 第2回甘楽富岡地域定住自立圏共生ビジョン懇談会
【案件】甘楽富岡地域定住自立圏共生ビジョン（案）について

9月27日 第3回甘楽富岡地域定住自立圏共生ビジョン懇談会
【案件】甘楽富岡地域定住自立圏共生ビジョン（案）について

10月 5日 第4回甘楽富岡地域定住自立圏共生ビジョン懇談会 ※書面開催
【案件】甘楽富岡地域定住自立圏共生ビジョン（案）について

25日 定住自立圏構想市町村長会議
【案件】甘楽富岡地域定住自立圏共生ビジョン（案）について

甘楽富岡地域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員

(敬称略)

政策分野	団体	委員氏名	市町村	備考
全般	富岡市区長会	横田 公男	富岡市	会長
全般	(一社)富岡青年会議所	古矢 啓介		
生活機能の強化 (産業振興)	(一社)富岡市観光協会	武井 哲郎		
全般	下仁田町区長会	佐俣 奨	下仁田町	
生活機能の強化 (産業振興)	(一社)下仁田町観光協会	茂木 清		
生活機能の強化 (教育)	下仁田町学校運営協議会	里見 悦子		
全般	南牧村区長会	浅川 明	南牧村	
生活機能の強化 (福祉)	南牧村民生委員児童委員協議会	市川 隆昭		
生活機能の強化 (教育)	南牧村学校運営協議会	市川 裕一		
全般	甘楽町区長会	熊井戸 良男	甘楽町	
生活機能の強化 (福祉)	甘楽町民生委員児童委員協議会	青木 正美		
生活機能の強化 (教育)	甘楽中学校PTA	岡田 みゆき		
生活機能の強化 (医療)	(一社)富岡市甘楽郡医師会	武田 滋利	市町村 共通	副会長
結びつきやネットワークの強化 (地域公共交通)	上信電鉄株式会社	木内 幸一		
全般	県甘楽富岡振興局	竹田 修二		

甘楽富岡地域定住自立圏共生ビジョン

2021 年（令和 3 年）11 月 富岡市

作成／富岡市 企画財務部 企画課 企画係
〒370-2392 群馬県富岡市富岡 1460-1
電話 0274-62-1511（代表）